

居住システム系住居環境科(元)		居住システム系住居環境科(改定案)		※赤字は、削除。青字は、追加。	
学科		学科		基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査員会における指摘事項
系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。	系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。		
	2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		
	3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		
	4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		
	5 構造力学の基本事項について知っていること。		5 構造力学の基本事項について知っていること。		
	6 建築物に使用される材料について知っていること。		6 建築物に使用される材料について知っていること。		
	7 建築物の構成やその仕組みについてよく知っていること。		7 建築物の構成やその仕組み構造や構法についてよく知っていること。	建築で用いる一般的な表現に修正した。	
	8 建築コストの構成や算出方法について知っていること。		8 建築コストの構成や算出方法物の数量積算の方法について知っていること。	積算の科目では、建築物の躯体の数量積算に重きを置いているのが実状であるため、その内容に変更した。	
	9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		
	10 建築の生産体制や方式について知っていること。		10 建築の生産体制やその方式について知っていること。	「方式」が示すものを明確にする文章に修正した。	
	11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		
	12 安全衛生についてよく知っていること。		12 安全衛生についてよく知っていること。		
実技		実技			
系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。	系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。		
	2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		
	3 工学的な基本測定ができること。		3 工学的な基本測定ができること。		
学科		学科			
専攻	1 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法について知っていること。	専攻	1 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法について知っていること。		
	2 居住空間の構成と計画方法について知っていること。		2 居住空間の構成と計画方法について知っていること。		
	3 建築空間の環境についてよく知っていること。		3 建築空間の環境についてよく知っていること。		
	4 建築構造物の応力解析と断面算定について知っていること。		4 建築構造物の応力解析と断面算定について知っていること。		
	5 鉄筋コンクリート構造の解析方法について知っていること。		5 鉄筋コンクリート構造の解析方法について知っていること。	上記4と重複するため。	
	6 建築物に使用される構造材、仕上材及び仮設材についてよく知っていること。		5 6 建築物に使用される構造材、仕上材及び仮設材についてよく知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
	7 木造についてよく知っていること。		7 6 木質構造についてよく知っていること。	教科の細目に合わせるため。 項目5の削除により繰上げ	
	8 建築生産組織、施工計画及び施工管理についてよく知っていること。		8 7 建築生産組織、施工計画及び施工管理についてよく知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
	9 建築物の躯体及び仕上げの各種施工法について知っていること。		9 8 建築物の躯体及び仕上げの各種施工法について知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
	10 仕様及び積算について知っていること。		10 9 仕様及び積算について知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
実技		実技			
専攻	1 居住施設や複合施設の企画及び設計がよくできること。	専攻	1 居住施設や複合施設の企画及び設計がよくできること。		
	2 居住空間内部の企画及び設計ができること。		2 居住空間内部の企画及び設計ができること。		
	3 設計した建築物のプレゼンテーションができること。		3 設計した建築物のプレゼンテーションができること。		
	4 環境工学実験ができること。		4 環境工学実験ができること。		
	5 木造の構造計画ができること。		5 木質構造の構造計画ができること。	教科の細目に合わせるため。	
	6 建築構造材料及び仕上材料の実験ができること。		6 建築構造材料及び仕上材料の実験ができること。		
	7 器具の修理及び調整ができること。		7 器具及び工具の修理及び調整ができること。	器具の修理には、電気や機械の専門的な技術を要するものも多い。そのため、器具、工具の調整のみとした。	
	8 基本的な建築躯体及び仕上材の各種施工作業ができること。		8 基本的な建築躯体及び仕上材の各種施工作業ができること。		
	9 施工図の作成ができること。		9 施工図の作成ができること。		
	10 施工計画及び施工管理がよくできること。		10 施工計画及び施工管理がよくできること。		
	11 調査測量及び工事測量ができること。		11 調査測量及び工事測量ができること。		

居住システム系建築科(元)		居住システム系建築科(改定案)		※赤字は、削除。青字は、追加。	
学科		学科		基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査員会における指摘事項
系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。	系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。		
	2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		
	3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		
	4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		
	5 構造力学の基本事項について知っていること。		5 構造力学の基本事項について知っていること。		
	6 建築物に使用される材料について知っていること。		6 建築物に使用される材料について知っていること。		
	7 建築物の構成やその仕組みについてよく知っていること。		7 建築物の構成やその仕組み構造や構法についてよく知っていること。	建築で用いる一般的な表現に修正した。	
	8 建築コストの構成や算出方法について知っていること。		8 建築コストの構成や算出方法物の数量積算の方法について知っていること。	積算の科目では、建築物の躯体の数量積算に重きを置いているのが実状であるため、その内容に変更した。	
	9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		
	10 建築の生産体制や方式について知っていること。		10 建築の生産体制やその方式について知っていること。	「方式」が示すものを明確にする文章に修正した。	
	11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		
	12 安全衛生についてよく知っていること。		12 安全衛生についてよく知っていること。		
実技		実技			
系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。	系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。		
	2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		
	3 工学的な基本測定ができること。		3 工学的な基本測定ができること。		
学科		学科			
専攻	1 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法についてよく知っていること。	専攻	1 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法についてよく知っていること。		
	2 都市計画の理念及び方法について知っていること。		2 都市計画の理念及び方法について知っていること。		
	3 建築構造物の応力解析と断面算定について知っていること。		3 建築構造物の応力解析と断面算定について知っていること。		
	4 鉄筋コンクリート構造の解析方法について知っていること。		4 鉄筋コンクリート構造の解析方法について知っていること。	上記3と重複するため。	
	5 建築物に使用される構造材、仕上材及び仮設材についてよく知っていること。		4 4 建築物に使用される構造材、仕上材及び仮設材についてよく知っていること。	項目4の削除により繰上げ。	
	6 木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造及び組積造について知っていること。		5 5 木質構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造及び組積造について知っていること。	教科の細目に合わせるため。項目4の削除により繰上げ。	
	7 建築生産組織、施工計画及び施工管理についてよく知っていること。		7 6 建築生産組織、施工計画及び施工管理についてよく知っていること。	項目4の削除により繰上げ。	
	8 建築物の躯体及び仕上げの各種施工法について知っていること。		8 7 建築物の躯体及び仕上げの各種施工法について知っていること。	項目4の削除により繰上げ。	
	9 仕様及び積算について知っていること。		9 8 仕様及び積算について知っていること。	項目4の削除により繰上げ。	
	10 建築測量の理論及び方法について知っていること。		10 9 建築測量の理論及び方法について知っていること。	項目4の削除により繰上げ。	
実技		実技			
専攻	1 居住施設、複合施設及び公共施設の企画及び設計がよくできること。	専攻	1 居住施設、複合施設及び公共施設の企画及び設計がよくできること。		
	2 設計した建築物のプレゼンテーションができること。		2 設計した建築物のプレゼンテーションができること。		
	3 建築材料実験、構造実験及びその解析ができること。		3 建築材料実験、 構造実験及びその解析 ができること。	教科の細目に合わせるため。	
	4 器具の修理及び調整ができること。		4 器具及び工具の修理及び調整ができること。	器具の修理には、電気や機械の専門的な技術を要するものも多い。そのため、器具、工具の調整のみとした。	
	5 基本的な建築躯体及び仕上げの各種施工作業ができること。		5 基本的な建築躯体及び仕上げの各種施工作業ができること。		
	6 施工図の作成ができること。		6 施工図の作成ができること。		
	7 施工計画及び施工管理がよくできること。		7 施工計画及び施工管理がよくできること。		
	8 調査測量及び工事測量ができること。		8 調査測量及び工事測量ができること。		

居住システム系建築物仕上科(元)		居住システム系建築物仕上科(改定案)		※赤字は、削除。青字は、追加。	
学科		学科		基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査員会における指摘事項
系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。	系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。		
	2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		
	3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		
	4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		
	5 構造力学の基本事項について知っていること。		5 構造力学の基本事項について知っていること。		
	6 建築物に使用される材料について知っていること。		6 建築物に使用される材料について知っていること。		
	7 建築物の構成やその仕組みについてよく知っていること。		7 建築物の構成やその仕組み構造や構法についてよく知っていること。	建築で用いる一般的な表現に修正した。	
	8 建築コストの構成や算出方法について知っていること。		8 建築コストの構成や算出方法物の数量積算の方法について知っていること。	積算の科目では、建築物の躯体の数量積算に重きを置いているのが実状であるため、その内容に変更した。	
	9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		
	10 建築の生産体制や方式について知っていること。		10 建築の生産体制やその方式について知っていること。	「方式」が示すものを明確にする文章に修正した。	
	11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		
	12 安全衛生についてよく知っていること。		12 安全衛生についてよく知っていること。		
実技		実技			
系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。	系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。		
	2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		
	3 工学的な基本測定ができること。		3 工学的な基本測定ができること。		
学科		学科			
専攻	1 建築基礎製図法及び表示法について知っていること。	専攻	1 建築基礎製図法及び表示法について知っていること。		
	2 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法について知っていること。		2 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法について知っていること。		
	3 建築空間の環境について知っていること。		3 建築空間の環境について知っていること。		
	4 各種の建築構法について知っていること。		4 各種の建築構法について知っていること。		
	5 建築物に使用される仕上材についてよく知っていること。		5 建築物に使用される仕上材についてよく知っていること。		
	6 建築物に使用される構造材について知っていること。		6 建築物に使用される構造材について知っていること。		
	7 建築生産組織について知っていること。		7 建築生産組織について知っていること。		
	8 建築物の仕上げの各種施工法についてよく知っていること。		8 建築物の仕上げの各種施工法についてよく知っていること。		
	9 建築仕上工事の施工計画及び施工管理についてよく知っていること。		9 建築仕上工事の施工計画及び施工管理についてよく知っていること。		
	10 建築測量の理論及び方法について知っていること。		10 建築測量の理論及び方法について知っていること。		
実技		実技			
専攻	1 小規模の建築物の設計ができること。	専攻	1 小規模の建築物の設計ができること。	教科の細目に当該内容に関する記述がないため。	
	2 各種建築物の仕上部の設計がよくできること。		2 1 各種建築物の仕上部の設計がよくできること。	項目1の削除により繰上げ。	
	3 建築仕上材料の実験ができること。		3 2 建築仕上材料の実験ができること。	項目1の削除により繰上げ。	
	4 器具の修理及び調整ができること。		4 3 器具及び工具の修理及び調整ができること。	項目1の削除により繰上げ。 器具の修理には、電気や機械の専門的な技術を要するものも多い。そのため、器具、工具の調整のみとした。	
	5 建築仕上工事の墨出しができること。		5 4 建築仕上工事の墨出しができること。	項目1の削除により繰上げ。	
	6 下地の作成及び検査がよくできること。		6 5 下地の作成及び検査がよくできること。	項目1の削除により繰上げ。	
	7 基礎的な各種建築仕上施工作業ができること。		7 6 基礎的な各種建築仕上施工作業ができること。	項目1の削除により繰上げ。	
	8 建築仕上工事の施工計画及び施工管理ができること。		8 7 建築仕上工事の施工計画及び施工管理ができること。	項目1の削除により繰上げ。	
		8 調査測量及び工事測量ができること。	教科の細目に合わせ項目を追加する。		

居住システム系建築設備科(元)		居住システム系建築設備科(改定案)		※赤字は、削除。青字は、追加。	
学科		学科		基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査員会における指摘事項
系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。	系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。		
	2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		
	3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		
	4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		
	5 構造力学の基本事項について知っていること。		5 構造力学の基本事項について知っていること。		
	6 建築物に使用される材料について知っていること。		6 建築物に使用される材料について知っていること。		
	7 建築物の構成やその仕組みについてよく知っていること。		7 建築物の 構成やその仕組み 構造や構法についてよく知っていること。	建築で用いる一般的な表現に修正した。	
	8 建築コストの構成や算出方法について知っていること。		8 建築 コストの構成や算出方法 物の数量積算の方法について知っていること。	積算の科目では、建築物の躯体の数量積算に重きを置いているのが実状であるため、その内容に変更した。	
	9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		
	10 建築の生産体制や方式について知っていること。		10 建築の生産体制や その 方式について知っていること。	「方式」が示すものを明確にする文章に修正した。	
	11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		
	12 安全衛生についてよく知っていること。		12 安全衛生についてよく知っていること。		
実技		実技			
系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。	系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。		
	2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		
	3 工学的な基本測定ができること。		3 工学的な基本測定ができること。		
学科		学科			
専攻	1 建築基礎製図法及び表示法について知っていること。	専攻	1 建築基礎製図法及び表示法について知っていること。		
	2 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法について知っていること。		2 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法について知っていること。		
	3 防災について知っていること。		3 建築物の 防災について知っていること。	内容を適切に表現する語句に修正した。	
	4 各種の建築構法について知っていること。		4 各種の建築構法について知っていること。		
	5 建築材料について知っていること。		5 建築材料について知っていること。	系共通基礎学科の項目6と内容が重複しているため。	
	6 建築物に設置される各種設備についてよく知っていること。		6 5 建築物に設置される各種設備についてよく知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
	7 建築設備システム並びに建築設備における機器の種類、構造及び機能についてよく知っていること。		7 6 建築設備システム並びに建築設備における機器の種類、構造及び機能についてよく知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
	8 建築設備全般の設計理論及び施工法について知っていること。		8 7 建築設備 全般 の設計理論 及び施工法 について知っていること。	項目5の削除により繰上げ。 建築設備の設計と施工法を分け、設計分野について内容を適切に表現する語句に修正した。	
	9 配管施工法、電気設備施工法及び厨房施工法についてよく知っていること。		9 8 配管施工法、電気設備施工法及び厨房 建築設備の施工法についてよく知っていること。	項目5の削除により繰上げ。 建築設備の施工法について要素をまとめた。	
	10 建築設備工事の施工計画及び施工管理についてよく知っていること。		10 9 建築設備工事の施工計画及び施工管理についてよく知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
	11 熱力学及び流体力学について知っていること。		11 10 熱力学及び流体力学について知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
	12 制御理論について知っていること。		12 11 制御理論について知っていること。	項目5の削除により繰上げ。	
実技		実技			
専攻	1 機械製図及び建築製図の作成ができること。	専攻	1 機械製図及び建築製図の作成ができること。	「機械製図」は専攻実技「施工図実習」の細目から削除を提案しており、「建築製図」は系共通基礎実技の項目2と重複しているため。	
	2 建築設備施工図の作成ができること。		2 1 建築設備施工図の作成ができること。	項目1の削除により繰上げ。	
	3 各種の制御実験ができること。		3 2 各種の制御実験ができること。	項目1の削除により繰上げ。	
	4 建築設備実験及び環境工学実験ができること。		4 3 建築設備実験及び 各種環境測定工学実験 ができること。	項目1の削除により繰上げ。 教科の細目に合わせるため。	
	5 基本的な各種の建築設備施工作業ができること。		5 4 基本的な各種の建築設備施工作業ができること。	項目1の削除により繰上げ。	
	6 建築設備機器の測定、保守、操作、保全、調整、試験等がよくできること。		6 5 建築設備機器の 性能検査測定 、保守、点検、 劣化診断操作 、 保全 、 調整 、 試験等 がよくできること。	項目1の削除により繰上げ。 教科の細目に合わせるため。	
	7 建築設備工事の施工計画及び施工管理ができること。		7 6 建築設備工事の施工計画及び施工管理ができること。	項目1の削除により繰上げ。	

居住システム系インテリア科(元)		居住システム系インテリア科(改定案)		※赤字は、削除。青字は、追加。	
学科		学科		基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査委員会における指摘事項
系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。	系基礎	1 日本建築史、西洋建築史及び技術史について知っていること。		
	2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		2 建築計画の基本的な方法についてよく知っていること。		
	3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		3 建築基準法と関連法規についてよく知っていること。		
	4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		4 建築物及び居住者を取り巻く環境工学について知っていること。		
	5 構造力学の基本事項について知っていること。		5 構造力学の基本事項について知っていること。		
	6 建築物に使用される材料について知っていること。		6 建築物に使用される材料について知っていること。		
	7 建築物の構成やその仕組みについてよく知っていること。		7 建築物の構成やその仕組み構造や構法についてよく知っていること。	建築で用いる一般的な表現に修正した。	
	8 建築コストの構成や算出方法について知っていること。		8 建築コストの構成や算出方法物の数量積算の方法について知っていること。	積算の科目では、建築物の躯体の数量積算に重きを置いているのが実状であるため、その内容に変更した。	
	9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		9 各種建築設備の基本事項について知っていること。		
	10 建築の生産体制や方式について知っていること。		10 建築の生産体制やその方式について知っていること。	「方式」が示すものを明確にする文章に修正した。	
	11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		11 コンピュータのハードウェア及びソフトウェアの基礎について知っていること。		
	12 安全衛生についてよく知っていること。		12 安全衛生についてよく知っていること。		
実技		実技			
系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。	系基礎	1 コンピュータの基本操作ができること。		
	2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		2 建築製図法により基本的な建築図面の作成ができること。		
	3 工学的な基本測定ができること。		3 工学的な基本測定ができること。		
学科		学科			
専攻	1 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法についてよく知っていること。	専攻	1 居住施設、商業施設、公共施設等の建築計画の理念と手法についてよく知っていること。		
	2 室内空間の構成とその計画方法について知っていること。		2 室内空間の構成とその計画方法について知っていること。		
	3 建築空間の環境についてよく知っていること。		3 建築空間の環境についてよく知っていること。		
	4 形態デザイン及び色彩デザインの心理的効果、感覚的効果及び機能性について知っていること。		4 形態デザイン及び色彩デザインの心理的効果、感覚的効果及び機能性について知っていること。		
	5 人間工学について知っていること。		5 人間工学について知っていること。		
	6 建築物の躯体及び仕上げの各種施工法について知っていること。		6 建築物の躯体及び仕上げの各種施工法について知っていること。		
	7 建築空間に使用される仕上材についてよく知っていること。		7 建築空間に使用される仕上材についてよく知っていること。		
	8 インテリア部品の製作法についてよく知っていること。		8 インテリア部材品の製作加工法についてよく知っていること。	一般的な名称に変更した。	
	9 建築内装工事の施工計画及び施工管理について知っていること。		9 建築内装工事の施工計画及び施工管理について知っていること。		
	10 内装材の仕様及び積算について知っていること。		10 内装材の仕様及び積算について知っていること。		
実技		実技			
専攻	1 建築内部空間の企画及び設計ができること。	専攻	1 建築内部空間の企画及び設計ができること。		
	2 インテリアエレメントの設計がよくできること。		2 インテリアエレメントの設計がよくできること。		
	3 インテリア部品の製作図面の作成がよくできること。		3 インテリア部品の製作図面の作成がよくできること。		
	4 インテリア材料の実験ができること。		4 インテリア材料の実験ができること。		
	5 器具の修理及び調整ができること。		5 器具及び工具の修理及び調整ができること。	器具及び工具の修理には、インテリア以外(電気や機械)の専門的な技術を要するものも多い。そのため、器具、工具の調整のみとした。	
	6 インテリアエレメントの基本的な各種の加工作業ができること。		6 インテリアエレメントの基本的な各種の加工作業ができること。		
	7 建築空間の仕上げの各種施工作業ができること。		7 建築空間の仕上げの各種施工作業ができること。		
	8 インテリア施工の施工計画及び施工管理がよくできること。		8 インテリア施工の施工計画及び施工管理がよくできること。		
	9 人体寸法と作業域の空間把握ができること。		9 人体寸法と作業域の空間把握ができること。		

デザインシステム産業デザイン科(元)		デザインシステム産業デザイン科改定案)		※赤字は、削除。青字は、追加。	
学科		学科		基礎研究会における変更・改正の理由	
				専門調査員会における指摘事項	
系基礎	1 デザインの概要について知っていること。	系基礎	1 デザインの概要について知っていること。	現行どおり	
	2 造形についてよく知っていること。		2 造形についてよく知っていること。		
	3 色彩についてよく知っていること。		3 色彩についてよく知っていること。		
	4 コンピュータの基礎について知っていること。		4 コンピュータの基礎について知っていること。		
	5 生産工学、品質管理について知っていること。		5 生産工学、品質管理について知っていること。		
	6 デザイン史について知っていること。		6 デザイン史について知っていること。		
	7 デザイン関係法規についてよく知っていること。		7 デザイン関係法規についてよく知っていること。		
	8 デザイン材料について知っていること。		8 デザイン材料について知っていること。		
	9 安全衛生についてよく知っていること。		9 安全衛生についてよく知っていること。		
専攻	1 製品デザインについて知っていること。	専攻	1 製品デザインについて知っていること。	現行どおり	
	2 人間工学について知っていること。		2 人間工学について知っていること。		
	3 材料加工法について知っていること。		3 材料加工法について知っていること。		
	4 製品計画について知っていること。		4 製品計画について知っていること。		
	5 視覚伝達デザイン、視覚伝達計画について知っていること。		5 視覚伝達デザイン、視覚伝達計画について知っていること。		
	6 環境デザインについて知っていること。		6 環境デザインについて知っていること。		
実技		実技			
系基礎	1 スケッチ作業がよくできること。	系基礎	1 スケッチ作業がよくできること。	現行どおり	
	2 要素構成や造形ができること。		2 要素構成や造形ができること。		
	3 デザイン製図がよくできること。		3 デザイン製図がよくできること。		
	4 デザイン系ソフトウェアによる作業ができること。		4 デザイン系ソフトウェアによる作業ができること。		
	5 デザインワークができること。		5 デザインワークができること。		
	6 安全衛生作業ができること。		6 安全衛生作業ができること。		
専攻	1 製品のデザインができること。	専攻	1 製品のデザインができること。	現行どおり	
	2 視覚伝達デザインができること。		2 視覚伝達デザインができること。		
	3 試作ができること		3 試作ができること		
	4 各種材料の加工ができること。		4 各種材料の加工ができること。		
	5 デザインのプレゼンテーションができること。		5 デザインのプレゼンテーションができること。		

居住・建築システム技術系建築施工システム技術科(元)		居住・建築システム技術系建築施工システム技術科(改定案)		※赤字は、削除。青字は、追加。	
学科		学科		基礎研究会における変更・改正の理由	専門調査委員会における指摘事項
専攻	1 建築分野の技術英語について知っていること。	専攻	1 建築分野の技術英語について知っていること。		
	2 生産管理、経営管理について知っていること。		2 生産管理、経営管理について知っていること。		
	3 建築の企画・開発方法について知っていること。		3 建築の企画・開発方法について知っていること。		
	4 建築生産における建築の業務についてよく知っていること。		4 建築生産における建築の業務についてよく知っていること。		
	5 施工現場の安全性を確保するための構造力学及び構造体の力学的解析法をよく知っていること。		5 施工現場の安全性を確保するための構造力学及び構造体の力学的解析手法をよく知っていること。	文言整理による。	
	6 施工管理のための施工法と設備施工法をよく知っていること。		6 施工管理のための施工法と設備施工法をよく知っていること。		
	7 建設環境における公害の防止方法を知っていること。		7 建設環境における公害の防止方法を知っていること。		
	8 施工管理上必要な関連法規についてよく知っていること。		8 施工管理上必要な関連法規についてよく知っていること。		
	9 建物の維持管理をよく知っていること。		9 建物の維持管理をよく知っていること。		
	10 安全衛生管理についてよく知っていること。		10 安全衛生管理についてよく知っていること。		
実技		実技			
専攻	1 工事測量と足場施工の計画及びその管理がよいこと。	専攻	1 工事測量と足場施工の計画及びその管理がよいこと。		
	2 構造物の躯体の施工及び、仕上施工ができ、その管理がよいこと。		2 構造物の躯体の施工及び、仕上施工ができ、その管理がよいこと。		
	3 施工現場で必要とされる各種施工図書の作成がよいこと。		3 施工現場で必要とされる各種施工図書の作成がよいこと。		
	4 躯体・仕上げ・設備等工事の現場積算及び予算の組立ができること。		4 躯体・仕上げ・設備等工事の現場積算及び予算の組立ができること。		
	5 工程計画及び管理のための各種検査・測定・評価がよいこと。		5 工程計画及び管理のための各種検査・測定・評価がよいこと。		
	6 コンピュータ支援による建築生産情報の活用や現場事務所の運営ができること。		6 コンピュータ支援による建築生産情報の活用や現場事務所の運営ができること。		
	7 基礎構造物の設計ができること。		7 基礎構造物の設計ができること。		
	8 山留め・構台及び構造物の部分的施工に係る施工計画及びその管理がよいこと。		8 山留め・構台及び構造物の部分的施工に係る施工計画及びその管理がよいこと。		
	9 建築物の劣化等の維持管理ができること。		9 建築物の劣化等の維持管理ができること。		
	10 安全衛生作業の管理と推進ができること。		10 安全衛生作業の管理と推進ができること。		
応用	1 鉄筋コンクリート造等の建築において、一連の施工ができること。	応用	1 鉄筋コンクリート造等の 建築において 、一連の施工ができること。	文言整理による。	
	2 鉄筋コンクリート造等の建築において、一連の施工計画がよいこと。		2 鉄筋コンクリート造等の 建築において 、一連の施工計画がよいこと。	文言整理による。	
	3 鉄筋コンクリート造等の建築において、一連の施工管理がよいこと。		3 鉄筋コンクリート造等の 建築において 、一連の施工管理がよいこと。	文言整理による。	
	4 施工計画及び施工管理の技能・技術を施工現場に適用できること。		4 施工計画及び施工管理の技能・技術を施工現場に適用できること。		

本報告書等は、基盤整備センターホームページの「基盤整備センター刊
行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>

調査研究報告書 No.174

「職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究(専門課程・応用課程)」

発行 2019年3月
発行者 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
職業能力開発総合大学校 基盤整備センター
所長 角 修二
〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1
電話 042-348-5075 (企画調整課)
印刷 株式会社丸井工文社
〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1
電話 03-5464-7111

本書の著作権は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が有しております。

ISSN 1340-2412

調査研究報告書 No.174
2019

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY